

平成29年度入学者選抜試験問題

(教育文化学部・学校教育課程・教育実践コース)

小論文

推薦入試Ⅱ

注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 この問題冊子は、1ページあります。解答用紙は1枚あります。問題は1題あります。
試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの乱丁・落丁および解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 3 監督者の指示に従って、解答用紙に受験番号を記入しなさい。
- 4 解答は、解答用紙の該当欄に記入しなさい。
- 5 配付された解答用紙は、持ち帰ってはいけません。
- 6 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。

問題

『小学校学習指導要領』において、学校給食は、特別活動〔学級活動〕に位置付けられ、いずれの学年においても取り扱う内容として「食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成」と記されています。『学校給食法』には、「学校給食の目標」として、以下に示す7つの目標が掲げられています。

あなたは、学級担任として、どのように学校給食に関わる活動に取り組むことができると考えますか。「学校給食の目標」の中から特に取り組みたいことをあげ、その理由と、活動内容を具体的な例をあげて、800字程度で述べなさい。

「学校給食の目標」

- 一 適切な栄養の摂取による健康の保持増進を図ること。
- 二 日常生活における食事について正しい理解を深め、健全な食生活を営むことができる判断力を培い、及び望ましい食習慣を養うこと。
- 三 学校生活を豊かにし、明るい社交性及び協同の精神を養うこと。
- 四 食生活が自然の恩恵の上に成り立つものであることについての理解を深め、生命及び自然を尊重する精神並びに環境の保全に寄与する態度を養うこと。
- 五 食生活が食にかかわる人々の様々な活動に支えられていることについての理解を深め、勤労を重んずる態度を養うこと。
- 六 我が国や各地域の優れた伝統的な食文化についての理解を深めること。
- 七 食料の生産、流通及び消費について、正しい理解に導くこと。